

庄原メンバーズクラブ

7/2 岡山県久世町 全農岡山県本部総合家畜市場

一般消費者を呼び込み
『参加型の共進会』を目指す



庄原地域酪農振興会の青年部・庄原メンバーズクラブ(藤岡裕士会長)は、おかやまホルスタイン改良同志会主催の乳牛改良研修会を視察し、会員ら十二名が参加した。

視察にあたり、藤岡会長は「庄原地域の共進会も七月十五日に開催される予定であり、参考となるようしっかりと視察をしましょう」と挨拶された。審査員は吉田氏(ジエネティクス北海道)が務められた。会場では審査順位上位三席までを入賞予想する企画も用意され、観客もこれに参加。参加者は熱心に牛を見て、序列を決められていた。

今回の視察研修から、一般消費者を共進会に呼び込む工夫、興味をそそる企画のヒントを得ることができ、庄原地域共進会でも是非取り入れて欲しいとの声が上がっていた。

視察後、蒜山高原センターで昼食をとり、夫婦、家族連れでの参加から和気藹々とした雰囲気、蒜山を満喫され、将来の後継者となりうる小さなお子様も一緒に楽しんだ有意義な一日となった。



三原・世羅地域酪農女性部

7/6 島根県奥出雲

「延命水」飲んで長生きしよう!

三原・世羅合同日帰り旅行



農作業も一段落した七月六日、三原市酪農女性部(岡田吹子部長)と世羅地域酪農女性部(溝上千恵子部長)は、島根県の奥出雲にある「亀嵩温泉」に合同日帰り旅行を行った。

一行は『おろちループ』を通して、途中の坂根駅に立ち寄った。延命水を一口飲んで「この水を飲んで、みんな長生きしようでえー」、「父さんにも長生きしてもらわんと・・・」とお土産用のペットボトルに水を入れてお父さん pensando 思って持ち帰った。昼前には目的地の温泉に到着し、豪華な料理に舌鼓を打ち、玉峰山から湧き出るお湯につかって、会員らは心も身体も癒されると大満足であった。

三原・世羅の十四名の女性は、年々、酪農家戸数が減小する中であって合同で年一回程度の行事を行っている。酪農だから話せる、そして気持ちが通じるとあって、楽しい会話でストレス発散が出来ている。真面目なお母さん達は夕方の搾乳に間に合うよう帰路に着かれ、有意義な旅行となった。

7/4 広島県畜産技術センター

削蹄師ナンバーワン

おめでとうございます。 頼光伸考さん

第三十一回広島県牛削蹄競技大会優勝



第三十一回広島県牛削蹄競技大会(広島県装削蹄師協会主催)が開催され、十二名の削蹄師がその匠の技を競い合った。

大会は、中国ブロック大会の広島県代表を決める予選を兼ねたもので、牛の歩き方や姿勢、蹄の形等から削蹄方針を決める「牛削蹄判断競技」(筆記)と実技の「牛削蹄競技」の二種目で競われた。

優勝したのは頼光伸考さん(北広島町)で、来る九月に鳥取県で開催される中四国ブロック大会への出場切符を手に入れた。

頼光さんは「蹄は牛の体重を支える大切な部位であり、第二の心臓とも言われる。姿勢が崩

れると泌乳量の低下や大きな疾病を招き、蹄は心臓から一番遠い部位にあることから血液の巡りが悪く、歩くことで蹄の血液循環を促進し健全な体を維持することができ。特に繋ぎ飼いの多い乳牛は蹄の変形が多く見られ、削蹄によって配合飼料の多給によるルーメン異常が原因の蹄葉炎を早期発見できることもあり、農家からは『早く見つけてくれて有り難う』との言葉を掛けられる。これには大きなやりがいと責任を感じる」と話された。

師匠の佐伯峰雄さんも「若い者が削蹄を継いでくれることがとても有難い。今回の優勝は本人にとって大きな自信となるだろう。これからも節度ある削蹄師に育てていきたい」と優勝を称えた。



甲奴郡酪農女性部

7/13 ~ 14 沖縄県

5年ぶりの一泊旅行
沖縄で「めんそ〜れ」



(首里城公園の前で記念スナップ)

甲奴郡酪農女性部(池田月美部長)は、「暑い夏だからこそ沖縄へ」と5年振りに酪農家OBも誘って13名で沖縄一泊旅行に出かけた。

那覇空港に到着し、観光バスに乗って「琉球ガラス村」、「ひめゆりの塔」、「おきなわワールド」、「首里城公園」と沖縄の文化・芸術・伝統・歴史にまつわる観光地を巡り、夕食は那覇市内で琉球料理にオリオンビールを飲みながら島唄や三味線ライブを堪能した。国際通りでは、家族へのお土産を買ったり、散歩をして1日目の観光を終えた。

2日目は万座毛から「美ら海水族館」を見学し、パイナップル畑のある「沖縄フルーツランド」を観光。なんと言っても沖縄は海が綺麗で、前日のグラスボートに続き、古宇利島の約2kmの世界一の橋をバスで渡り、沖縄の夏の海がこんなに広く美しいことかと感動した。現地の気温は32℃~33℃で紫外線がきつく暑さを感じるが、湿度が低く風を受けて意外と過でしやすと感じた。

今回の旅行は思い切って遠出をしたが、参加者全員が「来て良かった」と大変満足した様子で、台風6号が沖縄に接近する不安定な天候ではあったものの、女性パワーのもと晴天の内に楽しい沖縄の旅を無事終えることが出来た。



(絶景の沖縄の海を散策する参加者ら)

双楽会

7/14 ~ 15 鹿児島

これで良いのか？

風呂に入り見つめ直す

九州新幹線で一泊旅行

(桜島の前で記念撮影)



双楽会(温泉川寛明会長)は会員並びに関係機関合わせて十一名が参加して、開通したばかりの九州新幹線に乗りし鹿児島への親睦旅行に出かけた。

初日は九州新幹線で鹿児島に到着後、バスで桜島を半周し、「有村展望台」から桜島一円を観光。桜島の雄大さに参加者は感動し、度々上がる噴煙に驚きの声が上がっていた。

一行は宿泊先の「ふるさと観光ホテル」に移動し、龍神を祀る「龍神露天風呂」に

ゆっくりとつかり日頃の疲れを癒された。

夕食を交えた懇親会で温泉川会長は「龍神露天風呂で『人生とは何ぞや、これで良いのか。今一度問い直してはいいか』との言葉に触れて、今日はそれぞれが人生を考え直せるようにゆっくりと語り合いましよう」と挨拶され、親睦を深めた。

二日目、鹿児島市内や城山公園、西郷隆盛が最後の五日間を過ごした「西郷洞窟」等を観光した。

帰路につく道中で参加者から「来年は何処にしようかのお」、「富士山にいつペン登ってみるか!?」等と楽しかった二日間の余韻にひたりながら、来年の親睦旅行が待ち遠しい様子であった。

(九州新幹線に乗った参加者ら)



世羅郡酪農振興協議会

7/15 甲山町・タイニー

平成二十二年度総会開催
町内イベントに積極的参加

世羅郡酪農振興協議会(鈴木道弘会長)は平成二十二年度総会を開催。

鈴木会長は挨拶で「二十二年度は四月の宮崎県の口蹄疫発生、三月の東日本大震災、福島原発事故と酪農を取り巻く環境は大変厳しい一年であった。会員も八戸となったが、互いに助け合いながら健康に注意して、ゆとりある酪農を続けられるよう期待する」と述べられた。

続いて、来賓の山本武組合長(広酪)の挨拶、樽好美子所長(広酪東部事業所)が最近の酪農情勢を説明し総会議事に入った。上程した二十二年度活動報告・決算報告、二十三年活動計画案・予算案の全議案を承認し総会は終了した。

この計画案には世羅町主催のイベントに参加する新たな試みが含まれている。

その後は、世羅町役場、診療所、NOSAIの担当者を含め、会員全員で多種多様な情報交換で盛りあがった。



「庄原市酪農連絡協議会」設立!! 会員間の親睦と情報交換・市への要請活動を強化

平成 17 年 3 月 31 日に 1 市 6 町が合併した庄原市をまとめる庄原市酪農連絡協議会が発足した。設立総会では、林智行発起人代表から設立に至った経緯や主旨説明が行われ、新会長に林智行氏(庄原市小用町)を選任し、会員相互の親睦・情報交換や市への要請活動などを目的とした規約が承認された。構成員は「庄原地域酪農振興会」「口和町酪農組合」「東城酪農振興会」「高野町酪農組合」「西城酪農クラブ」「総領地域内の酪農家」。

1 市 6 町の庄原市管内の酪農家は 30 戸で平成 21 年 7 月に飼料高騰による酪農経営窮状支援を求め、市内酪農家が一つになって行政への要請支援活動を行ったことをキッカケに市内の酪農組織をまとめる一本化の構想が具体化し、設立に向けた協議が進められてきた。



設立にあたって林会長は「身の引き締まる思いだが 30 戸の酪農家が安定した経営ができるように一致団結して一緒に頑張りましょう」と協力を求めた。

会長のほか選任された役員は、副会長に向田福夫氏(高野町)、和田慎吾氏(東城町)、幹事に坂村宜紀氏(口和町)、大庭秋義氏(西城町)、陰地博信氏(総領町)が選出された。活動は年 2 回程度を予定。

総会後は設立記念講演を開催し、「県内酪農の持続的発展は!」と題し、隅屋寒三専務(広酪)が講演を行った。

最後に向田副会長から「戸数は少なくなったが、酪農業は人に頼っては出来ない仕事。毎年、天候不順ではあるが、心身ともに充分注意をされ、頑張っていきましょう」と閉じた。



全役員の再任を決定 第六回総会開催

三原市酪農振興会(新舎和久会長)は第六回総会を開催。丁度この日は台風六号が接近し、会員七名、関係機関から八名の出席となった。

会長は「今年は震災等で大変な一年であった。津波や放射能の被害も大きく個人的にも何か支援できたらと考えているが、早い復興を願うと共に、逆に現地の方に勇気づけられ、人との絆の大切さを痛感した。振興会も小さな組織ではあるが、繋がりを大切にして行きたい」と挨拶された。

来賓出席の隅屋寒三専務(広酪)は、生乳生産の逼迫する中において、生産者の減少を最小限に食い止めたい。福島県では稲わらの給与被害が深刻化し、国の対応への注視が必要。一方で、なでしこジャパンの世界一に触れ、中期計画では女性役員登用も掲げており、組合員の理解と協力を求め祝辞を述べた。

総会では全議案を全員の可決承認をもって決議した。この議案には役員改選も含まれており、会長、副会長、会計、監査全員の再任を決定した。

総会後は、三原市、東部畜産事務所、山陽乳業㈱、家畜診療所、NOSA I 南などの担当者らを含めて意見交換を行った。

